

中国調達のリスクと、当社の考え方

既存の調達を止めずに、追加の購買先として試していただくために

「中国調達は安全です」とは、申し上げません。中国調達には、当社にもコントロールできないリスクが現実存在します。

一方で、適切なメーカーを選び、取引条件を整えることで、安定した品質の製品を継続して調達できる可能性は高まると考えています。重要なのは「中国を使うか使わないか」の二択ではなく、**どの品目を、どの程度中国に依存し、問題が起きた場合にどう対応・切り替えるかを管理すること**です。

1. リスクは2種類に分けて考える

対処の仕方が異なるため、当社では中国調達のリスクを次の2つに分けて整理しています。

カントリーリスク

— なくすことはできません

地政学的な情勢、規制の変更、輸出制限、物流の停止。これらは当社にもコントロールできません。品目ごとの中国依存度、代替調達の可否、切替に要する期間、供給停止時の影響を把握し、重要度に応じて**複数メーカーからの調達、在庫の確保、代替ルート**の確保で備えるものだと考えています。

個別取引のリスク

— 相当程度、下げられます

メーカーの実在性や事業継続性、製造・供給能力、品質・仕様、書類、納期、物流、トラブル対応。こちらは**取引前の確認と適切な運用によって、相当程度下げることができます**。当社の目利き・ヒアリング・メーカー出し値の開示・実務支援・取引の見える化は、そのための手段です。

2. 全面的な切替は、お勧めしません

供給が止まった場合に貴社の事業への影響が大きい品目については、既存の調達先から中国メーカーへ全面的に切り替えるのではなく、**既存の調達先を残したうえで、中国メーカーを複数購買先の一社として採用いただくこと**をお勧めしています。供給の安定は、コストより優先されるべきものだと考えているためです。

STEP 01

サンプル評価

サンプルを手配し（一部の例外を除き、輸送費も含めて無料）、社内評価の段取りまでご一緒にします。

STEP 02

小ロット

まず小さく購入し、品質・納期・書類・対応を実際の取引で確認します。

STEP 03

継続

品質承認と切替に要する期間を見込んだ計画を、ご一緒に立てます。

必要に応じて、在庫の確保や代替ルートもあわせて検討します。

3. 品目ごとに、依存度を管理する

品目ごとの重要度に応じて、**依存度・代替調達の可否・切替に要する期間**を管理する考え方をご提案します。

- その品目が止まったとき、貴社の生産にどの程度の影響が出るか
- 代替調達が可能か。可能な場合、切替にどれだけの期間を要するか
- 重要度の高い品目は、既存調達先を残したまま追加の購買先として位置づける

なお、**中国国内の複数メーカーへ分散することと、国をまたいで調達先を分散することは、意味が異なります。**前者はメーカー個別のリスクには有効ですが、カントリーリスクへの備えにはなりません。この違いも区別してご相談します。

4. 個別取引のリスクに、当社がすること

中国人スタッフがメーカーと中国語で直接対話し、言語だけでなく商習慣や認識の違いも踏まえて、**曖昧な点を取引前に明確にします。**そのうえで、メーカーの実態、製造・供給能力、製品規格、SDS、梱包、納期、物流、問題が発生したときの対応までを、個別の作業の寄せ集めではなく**一つの取引として一体的に確認・設計します。**

- 「メーカー」を名乗る会社の中から、実際に製造している会社かどうかを見極める
- 用途・要求品質・調達課題を伺い、候補に優先順位をつけて紹介する
- メーカーの出し値を開示し、価格の根拠を確認していただく
- 仕様書・SDS・COAの取得と整理、危険品を含む輸送条件の確認、物流と通関の手配
- 確認内容・見積・納期・物流・トラブル対応の履歴を記録し、次回以降の選定と条件交渉に生かす

当社は、中国メーカーとの関係が深いという理由だけで、特定のメーカーを無条件に推薦することはしません。メーカーに近いからこそ実力や対応姿勢を把握し、対応の経緯を記録したうえで、**お客様の立場から評価します。**

5. 当社の役割

当社は、中国調達のリスクそのものをなくせるとは申し上げません。中国側との関係構築、日本の化学品取引に必要な専門実務、取引情報を蓄積・共有する仕組みを組み合わせ、中国調達を、**属人的で不透明な取引から、根拠を確認でき、次の判断にも生かせる取引へ**変えていきます。

中国メーカーには、価格競争力、製造能力、品目の豊富さ、対応スピードといった利点があります。その利点と、完全にはなくせないリスクの両方をお伝えしたうえで、**貴社の判断材料をお渡しすることが、当社の役割**だと考えています。

当社は、品質保証・履行保証をサービスとして提供するものではありません。問題が起きた場合は、原因の確認とメーカーとの協議を通じて、解決を支援する立場です。

本資料は、中国調達のリスクに対する当社の考え方をご説明するものです。個別の案件における対応可否・条件は、品目・数量・時期などを伺ったうえで個別にご案内します。ご相談・メーカー候補のご提案に費用はかかりません。